

| 人口の動き |          | (8月1日現在) | 前月の比 |
|-------|----------|----------|------|
| 人     | 口        |          |      |
| 人     | 139,825人 | 219人増    |      |
| 世     | 32,083世帯 | 125世帯の増  |      |
|       |          | (7月中)    |      |
| 出     | 生        | 122人     |      |
| 死     | 亡        | 31人      |      |
| 転     | 入        | 1,778人   |      |
| 転     | 出        | 1,536人   |      |

室蘭

# 市政だより

昭和 35 年 9 月 号

才 115 号

毎月1回発行

發行所 市役所  
編集 總務部庶務課広報係  
印刷所 有限公司 印刷所



# 大いなる秋

松

木

官

松 そんな市 井の景観を  
引き立てる  
ような空の青さだ  
白いものがおよそ  
悲しげなロマン調  
に織られ白鳥湾にそそ  
イタントキ浜にそそ  
る歩きの市民が目ざ  
立つのも、この時

みのりの穂波の感触をなつかしむのも、都市から解放される心理現象であろう。

マス、プロの流れの中でひそかに孤独の自分をめでゆう久の自然に生命の息吹きを通わせて、真理とか本質とかといった形而上的な価値に身をよ

木 覚 れるようなもろさで去ると、市内は秋色に包まれ、とうもろこしの匂いが、すれこう人の皮膚から感じられる。じとられる。どつと果物が出そろつて實物力ゴから、こぼれそうなブドウの実のみえるのも楽しい風光である。

谷間のせまい空間に、  
そう音と時間がうず巻き  
人という人が、テンポの速い密度の中で、活動の主体性をおし立てて、その動きがそのまま歯車のようにならへる。だから、別天地にぼうり出されたようすに秋を体感する。  
一年のうちで、この季節ほど自分を回復させる時期は他にないのでなかろうか。  
焼き栗をかみながら、遠い少年期を回想したり故郷の風物をしのんで、

協力委員が訪問調査は、選挙協力委員が各家庭を訪問して、有権者の「氏名」「生年月日」「職業」「本籍」

▽：アパートや団体的建築物の場合は、隣室の人の  
氏名もお知らせ願います

## 基本選挙人名簿を調製

# 選挙権を登録しましょう

ことしの調査に該当する人は  
①日本国民で昭和十五年十二月二十一日までに生まれ  
②③ことしの六月十五日以前から引き続き室蘭市に住所がある人です。

ぎの点にご注意のうえ、家族の有権者がもれることのないよう、調査をご協力ください。

▽：新有権者（成人、転入など）があるときは、忘れずにお知らせください。

▽：家族の中に旅行、出稼ぎ、入院などで不在者がいるとき、また、同居人がいるときは、そのことをくわしくお話しください。

「調査済の証」  
がはられます

九月十五日現在で

ことしも新しく、基本選挙人名簿を作るため、九月十五日現在で  
一せいに選挙人の資格調査が行なわれます。名簿に登録されな  
ければ選挙のときに投票できませんので、一人ももれることの  
ないよう、この調査にご協力願います。

入口に「調査  
れます。も  
力委員が訪  
「調査済の印  
ないときは  
理委員会へ





せめても二人

三名から四名にしてもらえたのである。

レジスタンス

に見られて いるその 気持が  
汗になつて びっし より。

バンドにかかり本式のスマ  
ウ体型となる。勝負がきま

よ〃〃先生  
といいよ〃

A先生が休んだ。B先生

たの…それを  
一日であつた。

## 感した レジスタンス

汗になつてひしより

ウ体型となる。勝食かぎま  
つた頃はもうさつきのけん  
かはどこへつら申畏く笑、

といしよ

と二人の人の子供を見る  
なければならぬ。在籍の七  
〇人には保母三人、子供の家  
庭環境はほとんどが任せ  
ぎたから出席率はいつも九  
〇パーセントを上まわる。  
健康状態も良。きげんよ  
く登所していく児童に満足

月はじめに新入  
お山の大  
入所した。途中入  
はやはり初めから  
かと手がかかる。  
この中にすごい  
がいる。入所一日

将 哥ちゃんは長い間一子である  
兄が五名  
所の子供  
だから何  
団体生活が入らない。  
先生がたにスキがあったら  
逃げようとしている子であ  
る。

かいわれているが、こうも  
くべからざるものであると  
けんかは子供の発育上欠  
かが悲しくて泣きたいいくら  
いた。  
けんか

かにどこへやうな仕事、笑いなどそんな姿にともどむことと動機よりも個人的にもどむことが多い日常が反省させられる。

かすむと  
早がわりす  
“今日のオ  
ですよ”  
“ほんと?  
私たちは  
どオダンゴ  
子供たち

# ある保母の日記から

にかかり本式のスモ

よ〃〃先生もはだかになる

見ておびえているだろうN

保育児が残る。残された子

ふるつてご応募ください

となる。勝負がきま

といいよ〃

ちゃんをなだめていると、

もしょんぱりしてしまう。

躍進する室蘭港、市の施設、その他の市政広報に関する広報効果のある写真を、つきの要領で募集しております。ふるつてご応募ください。

### 第三回市広報写真コンテスト

はもうさつきのけん

こへやら仲良く笑い

がすむと、どろんここねに

ちゃん泣いた?』と聞く。

そんな姿とともに

そんがわりする。早がわりする。

『今日のオダンゴおいしい

もうめざとい子が『先生N

よりも結果で判断す

後は真黒くよこれたあとで

ない顔のなかで時間がくる

まであれこれ考えるのが私

の多い日常が反省さ

ですよ』

『ほんと? ごちそうさま』

私たち食へきれないは

どオダンゴの接待を受ける

子供たちの満足そうな顔

ひるねは子供にとって大

敷いて横にな

かん坊になつて外に

事な日課の一つ。午後、遊

戯室にゴザを

が骨折で三か月ギブスをか

かん坊になつて外に

車から少しでも守られるよし

された。このマフラーをつ

くに拍車をかけるだろう。

ひるねは子供にとって大

きの水玉がおど

ったと思うう

ちにねむつて

中にはね上がる子

中にはね上がる子

しまってMちゃんがオート

二日前にMちゃんが母さん

もつと水かけ

もつと水かけ

三輪にはねられ三か月たつ

やけた母さんたちが迎えに

もつと水かけ

もつと水かけ

が骨折で三か月ギブスをか

けていた。ことし四月入所

もつと水かけ

もつと水かけ

から少しでも守られるよし

から少しでも守られるよし

もつと水かけ

# 10月1日・国勢調査もつなる世界人口センサスに

は国勢調査日です。国勢調査は大正九年に日本で最初の調査が行なわれてからことしで九回目になり調査は規模の上からみても戦後では最大のものといわれておりますし国際連合の行なう世界人口センサスにもつながりをもつひじょうに重要なものです。

今回の調査は、国民の年令、性别、配偶関係、職業などの基本的なことがらのほか、新たに教育程度、婦人出産力、通勤類などの調査も加えられ、わが國人口の分布状況をしらべて國が行なついろいろな仕事の資料とするものです。

それでは、ことしの国勢調査のおもな事がらをあげてみましょう。

## ▽調査の範囲

昭和三十五年十月一日午

## かわりました

図書館輪西分室(市民会館内)の開館時間がつぎのようにかわりました

▽月曜と土曜(火曜は全休)は正午と午後五時五時。

## 新刊ご案内

行案内 日本交通公社(日本本交通公社)

福原謙太郎(毎日新聞社)

活

18世帯の

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

12

11

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

21

20

19

18

17

16

15

14

13

</div

# 市政を私たちの目で

実務を体験した一日部課長さん



## としよりをいたわりましよう

としよりの福祉週間



月十五日は、「としよりの日」です。この日からとしよりの福祉週間に、わたくしたちは、もう一度老人の福祉について考えてみよう。

福 祀 しよう

老人の福祉を考えるとき一一番問題となるのは、経済上の問題ですが、単に生活の安定を保障しただけでは必ずしも十分なものが情としてますます盛りあがります。

この荒波にたえてこられることにより、敬愛といふことよりの気持をこめて家

市内での各団体の代

高生などのうちから

市長、助役、收入役は

部課長になつても

実際にひ

でも多く

か、その

もので

はつきり

り、知っ

て、明

巾を作る

協力して

たくよう

からはじ

るもので

市長令を

た一日

行演習

、すぐ

の日、市

ら辞令を

た。市長のかた

は、それ

の日、市



